

■英国：規制機関、2019年1月から価格上限規制の導入を発表

ガス・電力市場局（OFGEM）は2018年11月6日、2019年1月よりガス・電気料金の価格上限規制（プライスカップ規制）を導入すると発表した。OFGEM はかねてから多くの需要家に適用されている「標準変動料金」が割高であることを問題視しており、今年9月にプライスカップ規制案を発表、意見公募を経て今回導入を正式に発表した。今回発表された内容では、ガス・電気両方の供給を受け、料金の支払方法が口座引落しで、標準的な使用量の場合、料金上限を年間1,137ポンド（約16万6,000円）に規制する内容となっている。OFGEMによると、1軒当たり年間平均76ポンド（約1万1,000円）の削減が可能であり、約1,100万軒の需要家がプライスカップ規制によって保護され、合計削減額は約10億ポンド（約1,466億円）に上るとしている。大手事業者のSSEはこの発表に対して「コストを反映した持続可能な方策とは思えない」と批判的なコメントを発表している。